

算数

小学校 第3学年

OS・ソフト等

- Windows
- SKYMENU Cloud

<単元・題材名等>

かけ算の筆算

～(2けた)×(1けた)の計算のしかたを考えよう～

ねらい

2位数×1位数の計算の仕方を考える活動を通して、位ごとに分けて計算すればよいことに気づき、部分積に繰り上がりのない場合の計算原理や方法を説明することができる。

主なICTの活用方法

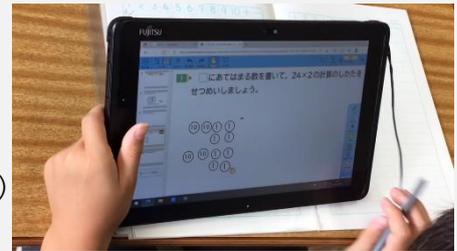
- ・ 大型提示装置や ICT 端末への画面投影の機能
- ・ 動画の視聴

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 画面投影機能を用いて、児童が自分の発表ノートを提示しながら、自分の考えを指し示して説明できる。また、仲間の考え方を比較して聞くことができる。
- ・ 「①図で考える方法」と「②式で考える方法」の動画を視聴し、考えを深めることができる。

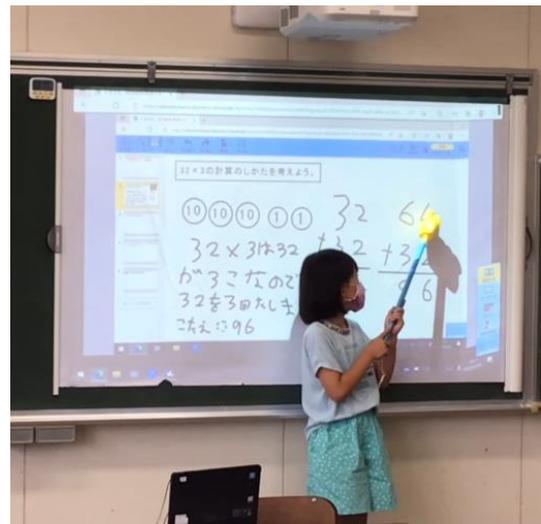
実践の概要

- 1 学習問題を読み、既習の問題と本時の問題の違いに気付く。
- 2 課題を設定し、解き方の見通しをもつ。
 32×3 の計算の仕方を考えよう。
- 3 自分の考えを発表ノートに整理する。
- 4 全体交流し課題追究する。(ICTの活用：動画「図で考える方法」)
- 5 まとめをする。(ICTの活用：動画「式で考える方法」)
 32×3 の計算も、位ごとに分けて計算し、それらを合わせればよい。
- 6 練習問題に取り組む。



児童の学びの様子

- 個人追究時
 - ・ 児童が協働学習支援ツールの資料置き場から、活用したいツールを選択し、追究を進める姿があった。
 - ・ タブレット端末上のシートに書き込みながら、試行錯誤しながら自分の考えを整理する姿があった。
- 全体交流時
 - ・ 自分の考えを整理したシートを、プロジェクタに投影し、式と図を結び付けて説明するなど、根拠を明確にして表現することができた。
- まとめ・振り返り時
 - ・ 協働学習支援ツールで配付された問題に取り組むことで、本時に学んだことの定着を図ることができた。



指導のポイント

- 協働学習支援ツールを活用し、児童が自ら選択できるヒントカード等を準備し、思考を促す。
- プレゼンテーションソフトを用いることで、児童の考え方を整理し、共有点を見いだす。